



# 平成17年3月期 決算説明会資料

平成17年5月25日

コムシスホールディングス株式会社

代表取締役社長 島田 博文



COMSYS Holdings Corporation

# - Contents -



## . 平成17年3月期 決算総括

1. 対前期比【12ヵ月】	.....	4
2. 対計画比【15ヵ月】	.....	5

## . 中期経営計画

1. 経営計画の3本柱	.....	7
2. 経営目標数値	.....	8

## . 平成18年3月期 事業計画

1. 計画値	.....	11
2. 事業別の戦略	.....	12 ~ 14
3. 経営統合施策	.....	15
4. 業容拡大投資	.....	16
5. 経営環境を取り巻く諸課題への対応	.....	17

# 平成17年3月期 決算総括

1. 対前期比 【12ヵ月】

2. 対計画比 【15ヵ月】

# - 1 . 対前期比【12ヵ月】

~ 増収(6.9%アップ)、増益(40.6%アップ) ~

(単位:億円)

	平成16年3月期 決算 単純合算値	平成17年3月期 決算 単純合算値【12ヶ月】	増減値	増減率
受注高	2,702	2,918	+216	+8.0%
売上高	2,762	2,953	+191	+6.9%
営業利益(率)	98 (3.6%)	138 (4.7%)	+40	+40.6%
経常利益(率)	104 (3.8%)	160 (5.4%)	+56	+53.2%
当期利益(率)	47 (1.7%)	88 (3.0%)	+41	+85.3%

(注)上記数値は、比較のため3グループ会社の通期ベース(平成16年3月期は、三和-G及びTOSYS-Gは上期分を含む12ヵ月分)での単純合算値としている。  
平成17年3月期実績は比較のため、日本コムシスの連結子会社決算期変更に伴う3ヶ月分を除く12ヶ月分としている。

**売上高が対前期比 +191億円**

NTT事業、ドコモ事業ともに好調(+157億円)

Non-NTT事業全体で低迷期から脱却(+34億円)

NCC事業が好調(特にモバイル工事)  
エンタープライズ系は微増

**営業利益が対前期比 +40億円**

事業再編によるシナジー効果(+19億円)

経営改善効果(+29億円)

売上高増加による利益の増(+10億円)

業容拡大投資(19億円)

**[特記事項] : 海外事業の抜本的な見直しを行い、これに伴う特別損失約11億円を計上。**

## - 2 . 対計画比【15ヵ月】

### ~ 収益・利益ともに大幅増 ~

(単位:億円)

	計画値【15ヶ月】 (H17.1.27発表)	実績値【15ヶ月】 (平成17年3月期)(注)	増減値	増減率
受注高	2,830	2,873	+43	+1.5%
売上高	2,840	2,936	+96	+3.4%
営業利益(率)	125 (4.4%)	150 (5.1%)	+25	+20.5%
経常利益(率)	145 (5.1%)	171 (5.8%)	+26	+18.2%
当期利益(率)	70 (2.5%)	83 (2.8%)	+13	+19.3%

(注)日本コムシス連結子会社の3ヶ月分(1~3月)の影響額

【受注高 +29億円】【売上高 +40億円】【営業利益 +11億円】【経常利益 +10億円】【当期利益 +6億円】

- 決算の良かった要因 -

年度末におけるNCC(移動系、IP系)の完成工事高の急増

年度末におけるFOMA等の完成工事高の急増

追加工事による売上、粗利の増加

完成工事の前倒  
と  
コスト削減努力

# 中期経営計画

## 1. 経営計画の3本柱

## 2. 経営目標数値

~ 「中期経営計画」の詳細については、  
別途7月21日(木)に説明会を開催予定 ~

# - 1 . 経営計画の3本柱

## インフラ構築のNO.1企業

「コムシス式カイゼン」の開発により、現場力を強化するとともに、更なる業容拡大を図る。

## 建設系のSierを目指す

高度なNW技術をベースにコンストラクションビジネスからソリューションビジネスへの変革を図る。

商品力  提案力  技術力

## 経営統合効果の最大化

純粹持株会社の仕組みを最大限に活かす。

集中と選択(事業会社の再編)  M & A、アライアンス

## - 2 . 経営目標数値

	平成17年度3月期 実績値【12ヵ月】(注)	3年後 平成20年3月期 目標値	増減率
売上高	2,896億円	3,200億円	+10.5%
Non - NTT売上高ウエイト	43%	(参考資料) 50%	+7ポイント
ソリューションビジネス売上高ウエイト	9%	20%	+11ポイント
営業利益率	4.8%	5.5%	+0.7ポイント
経常利益率	5.5%	6.0%	+0.5ポイント
ROE	6.2%	8.7%	+2.5ポイント
一人当たり売上高	42百万円	46百万円	+9.5%
有利子負債額	46億円	2億円	44億円
株主還元	配当 年15円 / 株 (内3円は特別配当) 自己株取得・償却 約480万株取得済	<b>安定配当(12円) + 業績等考慮</b> <b>自己株取得・消却の推進</b>	

(注) 平成17年3月期実績は比較のため、日本コムシスの連結子会社決算期変更に伴う3ヶ月分を除く12ヶ月分としている。



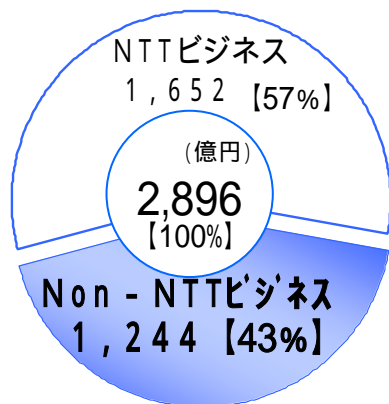
# (参考) Non-NTTビジネス市場の動向と売上計画

平成17年3月期(実績)

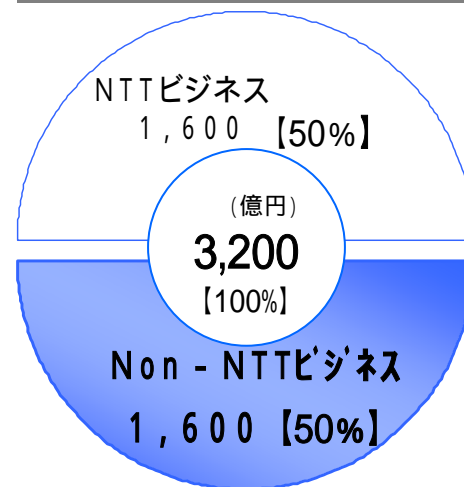
3年後

平成20年3月期(計画)

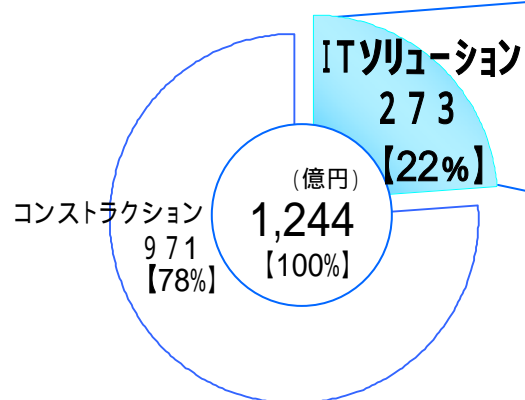
売上高(12ヵ月)



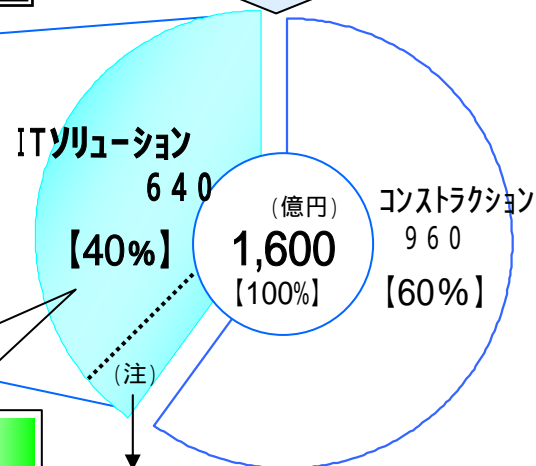
売上高ウエイト  
50%



うち、Non-NTTビジネス売上高



ITソリューション事業  
倍増



情報	IP電話	保守	NI
200	100	100	240

(注) ITソリューション事業にも建設事業が発生 9

# 平成18年3月期 事業計画

## 1. 計画値

## 2. 事業別の戦略

2 - 1 . N T T 事業

2 - 2 . ド コ モ 事業

2 - 3 . N o n - N T T 事業

## 3. 経営統合施策

## 4. 業容拡大投資

## 5. 経営環境を取り巻く諸課題への対応

# - 1 . 計画値

## ~ 増収増益を堅持する ~

(単位:億円)

		平成17年3月期 実績[12ヵ月](注)	平成18年3月期 計画値	増減値	増減率
受注高		2,843	<b>2,950</b>	+107	+3.7%
売上高		2,896	<b>2,930</b>	+34	+1.2%
営業利益(率)		138 (4.8%)	<b>145 (4.9%)</b>	+7	+4.0%
経常利益(率)		160 (5.5%)	<b>163 (5.6%)</b>	+3	+1.6%
当期利益(率)		77 (2.7%)	<b>85 (2.9%)</b>	+8	+10.3%
経営 指 標	ROE	6.2%	<b>6.8%</b>	+0.6ポイント	
	一人当たり売上高	42百万円	<b>44百万円</b>	+2	+4.7%
	有利子負債額	46億円	<b>30億円</b>	16	34.8%

(注)平成17年3月期実績は比較のため、日本コムシスの連結子会社決算期変更に伴う3ヶ月分を除く12ヶ月分としている。

## - 2 - 1 . 事業別の戦略 【 NTT事業 】

### - マーケットは微増 -

#### (1) 光関連工事が急増

- 投資は横ばいだが工事量が増える -

トヨタの「カイゼン」を模した「コムシス式カイゼン」を開発する。

#### (2) 2 , 3 年先の本格的IP 網構築時代への対応

- 技術者の育成 CCIE 6名【H17.3】 70名【H20.3】 -

#### (3) 2 , 3 年後には、既存設備の保守問題が発生する

- アナログメタル技術者の確保と保守体制の整備 -

## - 2 - 2 . 事業別の戦略 【ドコモ事業】

### - マーケットは微増 -

#### (1) FOMA基地局工事の「量の消化」が急務

- ホールディングス内の要員シフト、協力会社の整備 -

#### (2) 来期以降の設備投資が減少することへの対応

- ( ) ドコモビジネスでの業容拡大
- ( ) IP技術者の確保
- ( ) ドコモが指向する新ビジネスへの対応

## - 2 - 3 . 事業別の戦略【Non - NTT事業】

### - マーケットは増大 -

(1) NCCビジネスは大きく伸びる (新たな事業領域への進出)

- 全国での工事体制の整備 -

(2) コンストラクション工事

- コスト競争力強化(コムシ式カイゼン)を図り受注を確保する -

(3) ソリューションビジネス

- ( ) 商品力 … IP電話、セキュリティー、モバイル
- ( ) 提案力 … NW技術、システム技術、保守技術を統合した体制整備
- ( ) 技術力 … 育成強化

# - 3 . 経営統合施策

(単位: 億円)

経営統合施策		経営改善効果額	
		第1期～第2期実績 ～平成17年3月期累計	第3期計画 ～平成18年3月期累計
第1期～第2期	第3期予定		
<b>(1) 選択と集中の効果</b>		5	10
<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏エリアのNTT事業統合</li> <li>施工会社の統廃合(株)アルスター、サンネットコム(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCC事業統合(4月1日)</li> <li>情報事業のアウトソーシングの推進</li> </ul>		
<b>(2) 各社の共通オペレーション業務一元化による効果</b>		18	37
<ul style="list-style-type: none"> <li>社内システムの統合</li> <li>コムシスシェアードサービス会社の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集中購買</li> <li>「コムシス式カイゼン」</li> <li>不動産活用等の一体的業務オペレーション</li> </ul>		
<b>(3) M &amp; A 及びアライアンス効果</b>		1	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>日商エレクトロニクス等ITベンダーとのアライアンス</li> <li>コムシスブランド商品開発に向けたユニークリンクとの提携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際電設の子会社化(10月1日予定)</li> <li>メンテナンス事業拡大に向けたアライアンス</li> </ul>		
<b>(4) 会社独自の経営改善施策</b>		61	70
<ul style="list-style-type: none"> <li>子会社との役割分担の明確化による要員の再配置</li> <li>外注費の適正化</li> </ul>			
経営改善効果額(内、シナジー効果額) 計		85(23)	123(47)
<b>(参考) 業容拡大による売上増</b>		20	70
<ul style="list-style-type: none"> <li>コムシスブランド商品の開発(comsip)</li> <li>IT関連受注拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コムシスブランド商品の拡大</li> <li>人的スキル向上による上位レイヤへの参入</li> </ul>		

# - 4 . 業容拡大投資

(単位:億円)

業容拡大施策	業容拡大投資額	
	第1期～第2期実績 ～平成17年3月期累計	第3期目標 ～平成18年3月期累計
<p>第1期～第2期</p> <p>第3期予定</p> <p><b>(1) IT事業拡大に向けた投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検証ラボの設備及び機器類の充実</li> <li>・IT関連人材投資</li> <li>・その他IT関連投資(コンサル等)</li> </ul>	19	37
<p><b>(2) 新規事業領域拡大に向けた投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NMCの充実</li> <li>・NMCの移転、充実</li> <li>・「コムシス式カイゼン」(IT導入投資)</li> <li>・コムシスブランド商品開発</li> <li>・M&amp;A、アライアンス(小規模)</li> </ul>	6	21
<p><b>(3) 経営統合・事業再編推進に向けた投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT関連設備投資(社内IT化)</li> <li>〔営業・施工支援システム(COMFORCE)導入 社内システムの統合化〕</li> <li>・IT関連設備投資(社内IT化)</li> <li>〔COMFORCEのカスタマイズ 社内システムのカスタマイズ〕</li> </ul>	11	12
<p><b>(4) 技術研究開発投資</b></p>	2	3
<p>業容拡大投資額 計</p>	38	73



# - 5 . 経営環境を取り巻く諸課題への対応

